

《『役員選考等の見直し』議案に対する意見、2021年10月書面表決に付帯して》

- ◎普段から役員になるのは楽しいを滲み出すように心がける、〇年以上役員をしたら感謝状を差し上げる、などを検討したらどうか。
- ◎過去に選考委員長を経験したことがあるが、見直し理由のとおりだと思う。
- ◎この見直し案は、あくまでも第一歩であって、これで確定ではなく、施行されることになってから見直していくことをお願いしたい。
- ◎この改正により、青少協の改選について今まで通りでよいのか。
- ◎改選団体長は、団体の運営・活動等を推進するため、責任をもって自らの団体の役員選出にあたるべき。
- ◎見直しに伴うブロック別選考チームの編成については、提案どおり実施してみて、その後、改正すべき点があれば見直しを行っていくということで良いと考える。
- ◎提案に対し、賛成し尊重するが、自治会長も大変だと思う。4ブロック会議に自治連役員を加えた構成とすることに安心しました。
- ◎選考委員会の見直しは、よいと思う。何かを変えて結果を見る、良い所と悪い所を出し、又改善してゆく、常に前を向いて行く、結果を改善していくことが重要。
- ◎見直しすることは賛成だが、各自治会長の考えを集約し協議を経た上で改正されることを望みます。代表者が会の意義や取組み方を熱意をもって説明し、新しい人材が是非必要であることを皆に示してほしい。毎年続いている慢性的な後任不足については、行政が先ずはサポートし、協議提案されるべきだと思う。
- ◎自治会の存続すら厳しい状況の中、今以上の役員の負担を課すことはできない。さらなる自治会離れにつながってしまう。
- ◎見直しの方法では、各自治会にかかる負担の割合が大きすぎる。自治会役員が毎年代わり、候補選出に継続的な責任が持てない。実態に合わない提案と思う。対案は思い当たりません。
- ◎ブロックの中で選出自治会を順番に決めてしまうのはよくないと思う。順番でない自治会の中にも役員を受けられる環境になった人もいると思う。幅を持った選出をお願いします。
- ◎自治会の役員でさえなり手がいないのに、自治連の役員なんてとんでもない、行政のための自治連は解体したらという意見の者もいた。
- ◎単年度当番で自治会長が交代する当自治会としては、議案には賛同できない。そもそも自治連が何をやっているのかわからない中、年会費を支払ってまで加入してい

るメリットが現状考えられない。

- ◎選考方法を見直すことで解決になるとは思えない。やはり、各団体の業務見直しや人員のスリム化などの検討をし、町内会や地域活動に地域の方々があまり積極的でないという現状にあった活動内容にした上で、役員について考えるべきである。
- ◎自治連等の体制・活動がよくわからない。役員数などの見直しも必要ではないか。自分がやるならいいが、人に頼むには情報がないので、簡単には引き受けられない。候補者を見つけられない場合、会長自身が候補者とならざるを得ない状況も想定される。以上のことから、見直し案には反対である。
- ◎ブロック別にすることで、小さな範囲での選出により人選が困難になる気がする。見直し案は、短期の選出に可能かもしれないが、今後長期的に行うことを考えると難しいと思われる。全会長が出席すればよいが、現況では出席している地域のみで会長への負担が大きくなるように思います。
- ◎苦勞する人を増やす見直しには、抵抗しか考えられません。
- ◎書面表決結果については、完全な公表をお願いします。少なくともどこの自治会・団体が賛成反対なのか、わかるようにしてほしい。
- ◎会社もそうだが、各団体も新しい血（新人）を入れることが活性化の一步と考える。組織は、永遠に続くものでなければならず、そのために、世代の交代が必要です。若年層の参画を切に望みます。無関心、我関せず、無縁を装う皆さんをこちらに向ける方策を編み出してもらいたい。
- ◎多くの自治会町内会長は1年任期のため、自治・町内会の実態、状況を把握できないことが多々あり、複数年にすべき。
- ◎六会には、地域のために何か役立ちたい、ボランティアに関心がある、きっかけがあれば参加したい、」とされている方は必ずいるはずで、その方々をどう集めるか、どうする方法があるのか、大変難しい課題だと思う。